地域再生計画

１　地域再生計画の名称

湖西市地方創生に関する総合戦略推進計画

２　地域再生計画の作成主体の名称

静岡県湖西市

３　地域再生計画の区域

静岡県湖西市の全域

４　地域再生計画の目標

これまでの湖西市の人口・世帯数は全国的な推移と同様、高度経済成長に合わせ、右肩上がりに増加してきたが、2005 年の 60,994 人をピークに減少局面に転じ、2020 年には 57,885 人となっている。国立社会保障・人口問題研究所によると、2040 年には総人口が 48,487 人となる見込みである。

年齢３区分別の人口動態をみると、年少人口（０～14 歳）は 1980 年の 13,409 人をピークに減少し、2025 年には 5,924 人となる一方、老齢人口（65 歳以上）は 1980 年の 4,956 人から 2025 年には 16,587 人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64 歳）も 1995 年の 42,675 人をピークに減少傾向にあり、2025 年には 34,460 人となっている。

社会動態をみると、2017 年度までは転入者（2,856 人）に対して転出者（3,135 人）と社会減（279 人）の傾向が続いていたが、2018 年以降は年度によって社会増に転じたり社会減に転じたりしている。日本人は転出超過の傾向が続く一方で、外国人の社会動態は、転出超過の傾向が年々弱まり、新型コロナウイルス感染症の影響を除き転入超過に転じることも増えている。その背景には、市の基幹産業である製造業の雇用の機会の増加、国際情勢、サプライチェーンなども関わっており、社会動態の増減には外国人が大きく影響していることが伺える。

一方で自然動態については、人口構造により大きく変動し、年々減少傾向が強まっている。

過去 10 年間の死亡数は新型コロナウイルス感染症の前後で傾向が分かれ、特に2021 年度を境に大きく増加し、今後、人口比率が高い年代が高齢化していくことに伴い、徐々に死亡者数は増加していくと予測されている。

出生数は急速に減少しており、2017 年度には年間 400 人を、2024 年度には年間300 人を割った。原因としては大きく２つ、20 歳から 39 歳までの人口の数が減っている（2015 年 13,210 人→2020 年 11,913 人）こと、配偶者がいる割合が徐々に減っていることが考えられる。

人口の減少は、当初想定した人口推計を上回るペースで進んでいる。このような状況は、自動車関連産業を中心とした工業はもちろん、農業・漁業といった多種の産業が盛んな湖西市の市政に様々な影響を及ぼすことが懸念されるが、その中でも当面の人口減少が続くことを正面から受け止め、適応策を講じていく必要がある。

そこで、目指すべき将来の方向として、長期的な取り組みが必要な出生率の増加ではなく、社会増減に注目し、住みたいと思う人、住み続けたいと思う人の希望をかなえ、定住を促すことで人口減少の幅を緩やかにする。

湖西の将来の理想の姿を明確にし、着実に実現していくため、次の事項を本計画期間における基本目標に掲げる。

・基本目標１　安心して暮らすことができるまち
・基本目標２　結婚・出産・子育ての希望がかなえられ、誰もが活躍できるまち
・基本目標３　稼ぐ力に満ち、安心して働けるまち
・基本目標４　新たなつながりを築き、新しいひとの流れがあるまち

【数値目標】

５－２の①に掲げる事業	ＫＰＩ	現状値（計画開始時点）	目標値（2029年度）	達成に寄与する地方版総合戦略の基本目標
ア、イ、ウ、エ	数値目標①「子どもたちが住み続けたい」 住み続けたいと思う市民	81.3%	85.0%	基本目標１、２、３、４

	の割合			
	数値目標②「暮らしやすさの向上」 住みたいまちだと思う市民の割合	81.5%	85.0%	
	数値目標③「元気なまちの実現」 にぎわいのあるまちだと思う市民の割合	35.7%	45.0%	

５　地域再生を図るために行う事業

５－１　全体の概要

５－２のとおり。

５－２　第５章の特別の措置を適用して行う事業

○　まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【Ａ２００７】

①　事業の名称

湖西市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業

ア　安心して暮らすことができるまちをつくる事業

イ　結婚・出産・子育ての希望がかなえられ、誰もが活躍できるまちをつくる事業

ウ　稼ぐ力に満ち、安心して働けるまちをつくる事業

エ　新たなつながりを築き、新しいひとの流れがあるまちをつくる事業

②　事業の内容

ア　安心して暮らすことができるまちをつくる事業

災害に強く、安心して暮らせる地域づくりと、超高齢社会に対応した地域支援体制の構築を進める事業

【具体的な事業】

・持続可能な地域医療体制の確保

・利便性、効率性の高い公共交通ネットワークの形成　等

イ　結婚・出産・子育ての希望がかなえられ、誰もが活躍できるまちをつくる事業

子育て支援・教育環境の充実と、多様性を尊重した活力ある社会づくりを進める事業

【具体的な事業】

・働く世代の子育て環境整備と子どもの心身発達支援

・デジタルの力を活用した教育支援

・自然体験を通じた学習機会の提供　等

ウ　稼ぐ力に満ち、安心して働けるまちをつくる事業

郷土の偉人の精神を受け継ぎ、多様な産業で地域の活力を生むまちづくりをすすめる事業

【具体的な事業】

・中小企業等の経営基盤強化及び創業促進支援

・企業立地の促進

・第一次産業の振興　等

エ　新たなつながりを築き、新しいひとの流れがあるまちをつくる事業

湖西の魅力の発信とつながりづくりによる移住・定住促進事業

【具体的な事業】

・住宅が確保できる環境づくりと空き家対策

・駅周辺、関所周辺を中心とした賑わいの創出

・市民が誇れる観光地域づくり　等

※なお、詳細は湖西市地方創生に関する総合戦略のとおり

③　事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（ＫＰＩ））

４の【数値目標】に同じ。

④　寄附の金額の目安

1,400,000 千円（2026 年度～2029 年度累計）

⑤　事業の評価の方法（ＰＤＣＡサイクル）

毎年度７～９月に外部有識者による効果検証、進捗管理を行う。検証後速やかに湖西市公式ＷＥＢサイト上で公表する

⑥　事業実施期間

2026 年４月１日から 2030 年３月 31 日まで

６　計画期間

2026 年４月１日から 2030 年３月 31 日まで